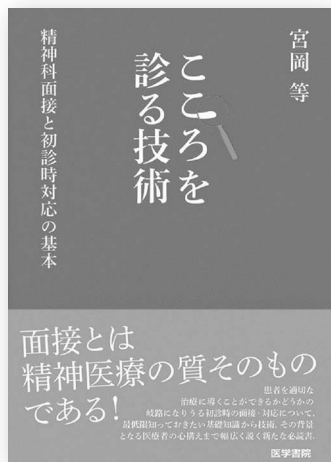


今月の特集関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.1407)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



こころを診る技術

精神科面接と初診時対応の基本

宮岡 等=著

定価 2,750 円/B6 判・232 頁/医学書院/2014

本特集で「原因不明の身体症状」について精神科医としてご解説いただいた宮岡等先生(p.1361)が、「精神科における標準的な面接および初診時対応はどうあるべきか?」をまとめた実践書。よい患者-医師関係を築く第一歩となる初回面接を中心に、精神科面接の基本的な心構えから話の聞き方・伝え方、特に注意して聞くべきポイントまでを幅広く、具体的に解説した。



『medicina』2022年9月号 (Vol.59 No.10)

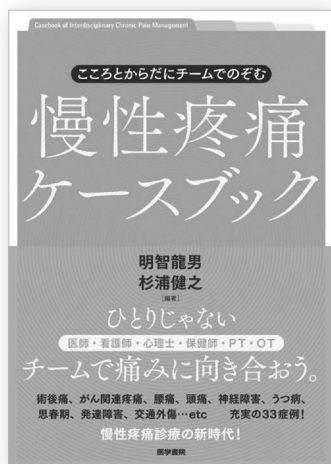
ちょっと待って、その痛み大丈夫?

“見逃してはいけない痛み” への安全なアプローチ

志賀 隆=企画

定価 2,860 円/B5 判・192 頁/医学書院/2022

痛みの診療は奥深く、多くの医師を悩ませる。一般外来や時間外外来に「緊急性の強い痛み」「診断の難しい痛み」「コントロールが難しい痛み」などをもった患者が訪れることがある。本特集では「(主に急性期の) 外来マネジメント」「再来計画」「痛みのマネジメント」に焦点を当て、さまざまなエキスパートによる各部位の痛みに対する知識の整理と症例の疑似体験をすることで、「痛みへのアプローチの引き出しを増やす!」ことを目指した。

こころとからだにチームでのぞむ
慢性疼痛ケースブック

明智龍男、杉浦健之=編著

定価 4,730 円/B5 判・304 頁/医学書院/2021

「こんな時どうすればよいのか」「他の人はどうしているのだろうか」。慢性疼痛診療は困り事の連続だ。なくならない痛み、患者や家族との関わり方、確信のないゴール設定、この介入は適切なのだろうか…? 臨床実践に直結する定式化された方法がないなかで参考になるのはエキスパートによる症例のみ! 困った時のヒントが読めば必ず見つかる! 痛み診療の新時代へ踏み出そう。p.1397に書評あり。